



○3月14日(木) 第3回学校運営協議会○

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

学校運営協議会の主な役割は、次のとおりです。

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる

第3回である今回は、この1年間の学校評価、コミュニティ・スクールの運営状況、次年度に向けた取組について討議を行いました。

■ 討議1 学校評価に係る学校関係者評価

清里高校の教育活動の観察等を通じて、清里高校の教職員が行った評価【自己評価】が適切かどうかについて意見交換を行った。また、校長から令和6年度の学校経営方針が示されました。

【委員からの意見】

- ・学校の教育目標などに英語が多用されていることで、わかりにくいものとなっている。生徒、保護者、地域の目から見て、学校の教育目標や教育活動がより理解しやすい、定着しやすい工夫を望む。
- ・英語表記については、行政指導の影響もあり、避けることや言い換えることで混乱をきたすこともある（例としてウェルビーイング等）。また、学校のグランドデザインとして示すためのフォーマットが文部科学省から示されており、内容についてのベクトルの共有を図る方がよい。
- ・学校で評価しているものを学校運営協議会で再評価する必要性を知りたい。
- ・評価する際に具体的な取組などを盛り込むことで、より適切な評価ができるのではないかな。
- ・保護者の評価の回収率はどの程度か。→40%ほどである。
- ・学校関係者評価アンケートの内容にわかりにくい点があるため、よりわかりやすくする工夫を望む。
- ・次年度の学校運営方針の承認など、重要な案件も含まれている。コロナ禍をきっかけに会議時間の短縮が行われているため、事前に議案の送付をいただくと会議の内容がより充実する。

■ 討議2 本運営協議会の運営状況

チェックシートを活用し、運営状況について討議を行う予定でしたが、今年度初めての取組であり、次年度、本格的に行うことを確認しました。

■ 令和6年度協議会の体制および委員の委嘱について

本協議会をより有効なものとするため、組織改編について討議しました。

【委員からの意見】

- ・ニュージーランド研修は、全員参加から中学生、高校生の選抜制へ移行した。ホームステイホストの確保が困難なこと、また、選抜とすることで生徒の自主性をより図るべきとの理由からである。今回の提案の中高での連携の充実により、もともとの社会福祉協議会での理想とするところに近づくので、ぜひ充実した内容になるようお願いしたい。また、高校として、研修について、新たな要望や声が上がれば、行政サイドに要望をするなどの積極的な対応を期待する。
- ・インターンシップの実施について、営業日と曜日が合わないことがある。代替などの要望があれば、対応したいのでぜひ相談してほしい。
- ・清里高校のニュージーランド研修は、希望により全員が参加できることということが、高校の特色であったので、特色の柱を失ったという印象を受けている。

【令和6年度以降の組織図】

